

厚生労働省における 化学物質とコミュニケーションに関する取組

1. 国民の健康確保のための今後の化学物質安全対策行政の課題

(2000年12月生活環境審議会生活環境部会に報告)

- ・「情報開示とリスクコミュニケーション」
- ・「妊婦・子供など弱者対応と予防原則」
- ・「一般消費者による行政評価」 など15課題を提起

2. 化学物質安全対策に関するNPO団体等との意見交換会

(2001年2月発足)

- ・法律家、市民団体(一般消費者、患者など)、試験機関、行政の各代表が参加する意見交換会
- ・「参加型の立案手法」を取り入れた「合意の形成」

厚生労働省における 化学物質とコミュニケーションに関する取組

3. 内分泌かく乱化学物質の健康影響に関する検討会
ー中間報告書追補案（2001年10月）
 - ・「リスクコミュニケーション」など重点課題の検討成果をとりまとめ
 - ・「行政ー消費者間の双方向のコミュニケーション」について、ガイドラインの骨格（目的、内容、メディア、継続対応、実施基盤など）を整理

4. 化学物質安全対策に関する情報ホームページの開設
（2001年7月～）
 - ・多岐にわたる活動をタイムリーに情報発信
家庭用品、新規・既存化学物質、毒物・劇物、PRTR、
シックハウス、ダイオキシン、内分泌かく乱化学物質、
国際協力（OECD、IFCS）、NPO団体等との意見交換会